

発行所
伊那市荒井
3500-1-401
上伊那教育会館内
長野県教職員組合
上伊那支部
編集発行人
中島 弘樹

県教組上伊那支部情報誌

知ってみ〜

令和7年
6月16日
第4号
職場掲示

支部ホームページ

上伊那支部

検索



〜第81回上伊那支部定期大会開催〜

5月9日（金）に伊那文化会館にて第81回上伊那支部定期大会が行われました。今年度の運動方針を決定するにあたり、多くの先生方からご意見、応援の声をいただきました。すべての子どもたちと教職員の幸のため、今年度の活動を邁進して参ります。



会の運営にあたって、多くの先生方にご尽力いただきました。ありがとうございました。

支部定期大会のお礼 県教組上伊那支部執行委員長 水上 和明

5月9日（金）、県伊那文化会館小ホールを会場に支部定期大会を開催いたしましたところ、多くの組合員の先生方にご参加をいただきました。活発な討議の結果、令和7年度の支部の活動方針が決定いたしました。今年度の組合員738名のところ、会場に足をお運びいただいたのは379名、委任を含めると649名の組合員の皆様の力強いお支えをいただくことができました。様々な角度から多くの発言をいただくことができたことも含めて、上伊那支部が大切に考えてきた「つながり」の強さを改めて感じる会になりました。それぞれの職場で定例会の呼びかけや出席者の集約などにご苦勞いただいた職場長や評議員の皆様、大会役員を引き受けていただいた皆様、大会に関わっていただきました全ての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

明日からも今年度のキャッチフレーズ「ALL FOR ALL〜みんなはみんなのために〜」を大事しながら、精一杯支部の活動をすすめてまいりたいと思います。引き続きご支援ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

☆ご発言いただいた意見【要約】☆

【組織拡大について】

今年度本校では組合員が増えた。組合員を増やすために、執行部で資料を作成してくれている。その執行部は、特別な人たちではなく、少しだけ組合に詳しい同じ教員である。組合は、みんなで作るみんなの組織。執行部用意の資料を見ただけでは組合について理解できなくても、それを使って組合員が声かけをして新たなつながりをつくっていくことが、この組織を守ることに繋がる。

【持続可能な組合活動】

一番大事なのは「つながり」だと思う。一人では実現できない要望も、組合員皆で知恵を出し合い協力していけば、市町村や県、さらには国に届けることができる。上伊那にあるたくさんのつながり（上伊那教育研究会、教育会、校長会、長頭組、PTA 連合会、市町村教委、連同上伊那地協、上伊那地区労組会議など）を大切にすることで、より働きやすい職場環境と子どもたちのため平和で明るい未来が実現できると信じている。つながることこそ、持続可能な組合活動のために必要。

【平和活動】

ロシアやイスラエルの戦争の惨禍、物価高、生活苦などマイナス的なニュースばかりで、将来が不安になることばかり。だからこそ、我々教師は、平和の大切さを子どもたちと一緒に考えていかなければならない。戦争経験者が年々少なくなる中、より平和に対する意識を高め、学び、伝え続けていくことが必要。

【上伊那教育研究会の在り方】

探究的な学びが求められる今、私たち教師にとっても新しい知識や興味との出会いとなる場なので、積極的に参加していきたい。ただ、教育課程研究協議会については、授業校の決定や授業者の選出について、苦勞があったり望まなくなっている先生もいたりすると聞いた。積極的に授業をしたいと思えるような形を、皆で考えていきたいと思う。